# 2025年度　生物多様性に関するサンパウロ州ユースとの友好交流プログラム

# 参加者募集要項

# １　目的

本プログラムは、生物多様性保全に関する取組をテーマにオンラインによりブラジル・サンパウロ州のユース世代との交流を行い、各地域の取組に係る意見交換などを通して、ユースが広い視野で考えるきっかけとし、それぞれの活動にフィードバックすることなどによりユースの生物多様性の保全活動の活性化や人材育成を目的としています。

# ２　生物多様性について

# （１）生物多様性とは

地球上の生きものは40億年という長い歴史の中で、さまざまな環境に適応して進化し、細菌からゾウのような大きなものまで、3000万種類もの生き物がいると言われています。ハトもセミも、タンポポもクヌギも、バクテリアなども多様な生物が互いにつながり、直接的・間接的に支え合ってきました。このことを生物多様性といいます。

生物多様性には、森林や里地里山などの「生態系」、動植物から微生物などのさまざまな「種」、そして「遺伝子」という３つのレベルで多様性があるとしています。

# （２）私たちの生活を支える生物多様性の恵み（生態系サービス）

私たちの暮らしは、食料や水の供給、気候の安定など、生物多様性を基盤とする生態系から得られる恵みによって支えられています。これらの恵みは「生態系サービス」と呼ばれます。

# ３　友好交流プログラムの内容

# （１）テーマ　「文化と生物多様性－供給サービス」

生態系サービスのうち、食料や水、木材、繊維、医薬品の開発などのための物質的な利益を生み出すものについては、「供給サービス」と呼ばれ、直接人々の暮らしを支えています。さらに、地域固有の習慣や食生活などの豊かな文化の源となっています。

例えば、日本人に馴染みの深い「鮎」について言えば、食文化としてはもとより、鮎つかみを楽しむ「ヤナ」、また「鵜飼い」は伝統的な漁法であるとともに、鵜飼見物としての楽しむ文化も生物多様性がもたらす恩恵です。そして「鮎」を取り巻く環境についても忘れてはなりません。

この友好交流プログラムでは、日本とブラジル両国の学生が、それぞれの国の生物多様性がもたらす供給サービスについて、具体的な例を取り上げるとともに、生物多様性が地域の文化にどのような影響を与えているのかを互いに紹介しながらディスカッションを進めます。

# （２）交流プログラムのスケジュール

サンパウロ州のユースと2回の交流会（オンライン、日本語-ポルトガル語の同時通訳あり）を実施します

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 回 | 開催日時（日本時間・予定） | 内容（予定） |
| １ | 2025年11月27日（木）  午後７時半から午後９時半頃まで | 今年度のプログラムテーマについて、  お互いの地域での取組事例を発表 |
| ２ | 2026年２月13日（金）  午前７時半から午前９時半頃まで | 第１回交流会での課題に関する発表、今  後の活動・連携に向けた意見交換 |

・各交流会の内容については一部調整中のため、変更となる場合があります。

・愛知県とサンパウロ州との時差が12時間あるため、各交流会は朝・夜を入れ替えての開催となります。

・参加場所については、各自の自宅や学校など、静かで通信環境の良い場所を想定しています。

・交流会に先立ち、８月から９月頃に愛知県側の参加者による交流会（場所は愛知県庁舎内）及び事前学習の場として、任意参加による県内の生態系保全活動の現場見学・体験等の実施を予定しています。（実施の可否、日時、場所等の詳細については、別途、参加者に連絡します。）

# （３）成果の発信

本プログラムの成果について、2026年3月に開催を予定している「生物多様性ユース会議」などに参加し、発表していただきます。（発信の場や発信方法については、今後決定します。）

このほか、交流会の様子や成果について、愛知県環境局が毎月発行している情報誌「環境かわら版」や、その他広報媒体でも活用させていただきます。

# （４）その他

各交流会の前後で、SNSを活用したサンパウロ州のユースとの交流も予定しています。（SNSによる交流に使用する言語は、英語を予定しています。）

# ４　募集人数

５名程度

# ５　応募条件

次の（１）及び（２）の要件を満たす必要があります。

（１）18歳以上29歳以下（2026年３月末時点）の者のうち、次の（ア）から（エ）のいずれかの要件に該当すること（職種、学科、専攻等は問いません。）

（ア）愛知県内に在住していること

（イ）愛知県内の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校又は専門学校に在籍して

いること

（ウ）愛知県内で勤務していること

（エ）愛知県内で生物多様性保全活動に携わっていること

（２）ZOOMを使用できる機器環境があること

# ６　参加費

無料

ただし、オンライン参加に係る、機材、通信料及び事前交流会等に参加するための自宅から愛知県庁までの交通費については参加者の負担となります。

# ７　応募方法

# （１）提出書類

応募申込書（別紙様式）

# （２）提出方法及び提出場所

次の宛先（提出先）に電子メールで送付（データ添付）してください。

・メールアドレス：shizen@pref.aichi.lg.jp

件名：サンパウロ州との友好交流プログラム応募

（添付データの容量は15MBまでとしてください）

# （３）提出期限

2025年7月18日（金）午後5時（必着）

# ８　選考

# （１）第一次選考（書類選考）

応募申込書により選考を行います。

選考の結果は2025年８月１日（金）頃までに応募者全員にメールで連絡します。

# （２）第二次選考（面接）

第一次選考を踏まえて、主催者が必要と判断した場合にオンラインにより実施します。

第二次選考を実施する場合、日時は個別に連絡します。

# ９　問合せ先

愛知県環境局環境政策部自然環境課　国際連携・生態系グループ（担当：加藤）

電話　052-954-6229

メール　shizen@pref.aichi.lg.jp

# 10　その他

本プログラムは2018年9月に本県とブラジル・サンパウロ州との間で締結した「友好交流及び相互協力に関する覚書」に基づき実施するもので、本県が2021年2月に策定した「あいち生物多様性戦略2030」において中核的な取組としている「生物多様性主流化の加速」や、重点プロジェクトの１つである「国際連携の推進」に寄与するものとして位置付けています。